



東京: 2024年7月10日(水)、名古屋: 2024年7月24日(水)



ROKLiveプログラム 2024年7月24日 JPタワー名古屋 ホール&カンファレンス

ロックウェル・オートメーション主催 ROKLive(ロック・ライブ)イベントへお越しいただきまして、誠にありがとうございます。本日のプログラムをご案内いたします。

午前中は基調講演、そのあと、2つの会場に分かれて、お昼の軽食をお召し上がりになりながら、協賛パートナーのランチョンセッションをお聞かせください。続いて、ユーザ様によるご講演を2つの会場で実施いたします。そのあとも2つの会場に分かれ、ロックウェル・オートメーションのセッションをお届けいたします。最後に、本日のまとめとしてのパネルディスカッションを開催します。

講演の間のブレイク時には、ホワイエにて弊社および協賛パートナーによるデモ展示をご覧いただけます。午後は、デモ展示コーナーにコーヒーもご用意しております。また、講演終了後は、懇親会を開催いたしますので是非ご参加ください。



基調講演

市場での攻防双方に寄与するDXというテーマで、製造業における有数の機関や団体、インフルエンサーにご講演いただきます。



各種製品の動的展示

ご来場の方の理解を深めていただくための、実製品やソリューションの動的展示をご覧ください。



ユーザ講演

基調講演の内容を実社会で展開する企業例として、各企業におけるDXの適用(または考察)背景とその状況についてご講演いただきます。



パートナーおよび弊社によるセッション

DXを基盤技術で支えるパートナーおよび弊社より、ユーザ課題に対するDX提供実績、各種近年技術によるソリューションをご説明いたします。



懇親会

ご講演者様、ご参加者様一同による懇親会を開催します。



プログラム詳細

プログラムは随時更新します。

		会場 A	会場 B
10:00	基調講演	ご挨拶 (アメリカ合衆国大使館 商務部 上席商務官 マイケル・ミドルトン 様 ロクウェルオートメーションジャパン株式会社 代表取締役社長 矢田 智巳)	
10:30		基調講演 1「2024 年版ものづくり白書の概略と製造業界のチャレンジ」 (経済産業省 製造産業局 製造産業戦略企画室 松高 大喜 様) (東京会場での講演の録画を放映いたします)	
11:00		基調講演 2「これからのものづくりにおいて必須となる三種の神器」 (東京大学大学院 新領域創成科学研究科 佐藤 知正 名誉教授) (リモート参加)	
11:30		基調講演 3「半導体市場の動向から洞察する製造業の近年傾向」 (インフォマティクス合同会社 シニアコンサルティングディレクター 南川 明 様)	
12:00 ～ 12:15	テモ	移動・テモ見学	
12:15 ～ 12:45	パート講演	「デジタルツインを推進する企業への富士ソフトの取り組み」 富士ソフト株式会社 インダストリー事業本部 インダストリービジネス事業部 産業機器ソリューション部 部長 小西 大地 様	「スマートファクトリーを実現するためのネットワークデザインとセキュリティ対策」 シスコシステムズ合同会社 Industrial IOT 事業部 担当部長 中川 貴博 様
12:45 ～ 13:00	テモ	移動・テモ見学	
13:00 ～ 13:40	ユーズ講演	「住友ゴム工業のタイヤ工場 DX 取り組みについて」 住友ゴム工業株式会社 タイヤ生産本部 製造 IoT 推進室長 伊部 剛 様	「設備づくり変革を目指し、製造 DX ソリューション活用の取り組み」 株式会社デンソー 工機部設備 DX 推進室 担当課長 西嶋 洋 様
13:40 ～ 13:55	テモ	移動・テモ見学	
13:55 ～ 14:25	ロクウェル・オートメーションセッション	IoT から現場の安全機器や線内機器まで ～ RA 製品の最新トレンドがまるわかり～ ロクウェルオートメーションジャパン株式会社 富田 真司 / 盛岡 良成	生産イノベーションの場へデジタルツインズ (初級) ロクウェルオートメーションジャパン株式会社 高松 典彦 / 青木 靖幸
14:25 ～ 14:35		移動・テモ見学	
14:35 ～ 15:05		現場機器メンテから生成 AI まで、ロクウェル・オートメーションの AI を全部見せます！ G-AI/L-AI/KALYPSO/ 生成 AI + Copilot ロクウェルオートメーションジャパン株式会社 エンタープライズアカウント、テクニカルコンサルタント 鈴木 健祐	思いきった調整による生産性向上の場へデジタルツインズ (中級) ロクウェルオートメーションジャパン株式会社 高松 典彦 / 李 花子 / 山岸 徹
15:05 ～ 15:15		移動・テモ見学	
15:15 ～ 15:45		短期導入で多拠点展開！ SaaS 型 MES PLEX 活用事例 ロクウェルオートメーションジャパン株式会社 エンタープライズソフトウェアセールス本部長 吉崎 晋郎	2027 年機械安全規格対応準備へデジタルツインズ (上級) ロクウェルオートメーションジャパン株式会社 高松 典彦 / 山岸 徹
15:45 ～ 16:00		移動・テモ見学	
16:00 ～ 17:00	パネルディスカッション	<p>パネルディスカッション「日本の製造業が DX を行う上で足りないもの」</p> <p>モデレーター: アイティメディア株式会社 BtoB メディア事業本部 メディア本部 編集局 ST 編集統括部 統括編集長 MONOist 編集長 三島 一孝 様</p> <p>『産』インフォマティクス合同会社 シニアコンサルティングディレクター 南川 明 様、 ロクウェルオートメーションジャパン株式会社 パートナー戦略事業本部 本部長 (エンジニアリスト) 吉田 高志</p> <p>『官』経済産業省 製造産業局 製造産業戦略企画室 松高 大喜 様 (オンラインで参加)、 日本政策投資銀行 設備投資研究所 主任研究員 青木 崇 様</p> <p>『学』東京大学大学院 新領域創成科学研究科 佐藤 知正 名誉教授 (オンラインで参加)</p>	
17:00 ～ 19:00	懇親会		

● 10:00-10:30 ホール 1&2 「ご挨拶」

アメリカ合衆国大使館 商務部 上席商務官 マイケル・ミドルトン様

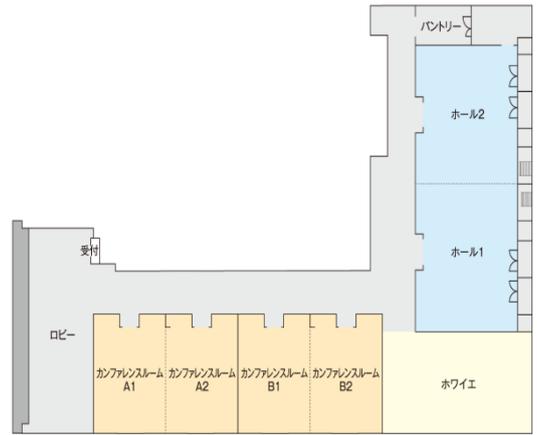


駐日米国大使館商務部にて上席商務官として勤務している。米国連邦政府商務省にて中国を中心に、アジア、アフリカそしてワシントン D.C.で勤務した。現在の主な担当産業は航空宇宙、先端製造技術。

ロックウェル・オートメーション 代表取締役社長 矢田 智巳



ロックウェル・オートメーションに入社以前は、IT 業界においてコンシューマーリテール事業の立ち上げを行い、リテール営業本部長などの要職を経験。その後ダッソー・システムズ株式会社のバリューソリューション事業部において技術統括に従事し、のちに執行役員・事業本部長を務め同社事業の転換と拡大に貢献。2020 年 1 月よりロックウェル・オートメーション現職。カーネギーメロン大学経営学修士。



● 10:30-11:00 ホール 1&2 「2024 年版ものづくり白書の概略と製造業界のチャレンジ」

経済産業省 製造産業局 製造産業戦略企画室 松高 大喜 様



● 11:00-11:30 ホール 1&2 「これからのものづくりにおいて必須となる三種の神器」

本講演では、これからの日本において①何を作れば良いのか？その時、②ロボットと生成 AI はどのような役割を果たすのか？そして、③どのようにすれば日本式ものづくりを世界に輸出でき、高度化できるのか？について、具体的に説明する。

東京大学大学院 新領域創成科学研究科 佐藤 知正 名誉教授

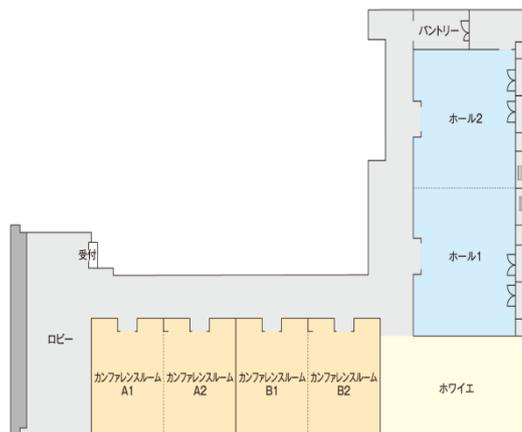


東京大学先端科学技術研究センター先端 システム教授や同大学工学系研究科機械 情報工学専攻教授などを歴任。日本ロボット学会会長を務めるなど、長年にわたりロボット研究やロボットの社会実装活動の第一人者として活躍されている。

● 11:30-12:00 ホール 1&2

「半導体市場の動向から洞察する製造業の近年傾向」

現在の市場環境において、従来よりも半導体需要が急速に高まっている。その背景はスマートフォンを始めとしたコンシューマ機器のニーズのみならず、近年では製造業界でのスマートマニュファクチャリング由来のスマートデバイスの需要増加といった事柄も挙げられる。本講演では、半導体市場動向の近況を紹介すると共に、そこから窺える製造業の変化について説明する。



インフォマインテリジェンス合同会社

シニアコンサルティングディレクター 南川 明 様



1982年武蔵工業大学電気工学科卒、モトローラ入社。90年ガートナー・ジャパン データクエスト半導体産業分析部シニアアナリスト、IDC Japan、WestLB 証券、クレディリヨネ証券を経て、04年データガレージ設立。19年英 Informa へ統合され OMDIA ブランドで活動。JEITA では10年間に渡り、世界の電子機器と半導体中長期展望委員会の中心アナリストとして従事。定期的に台湾主催の半導体シンポジウムで講演を行うなどアジアでの調査・コンサルティングを強化。特許庁の自動車用特許の技術審査委員、半導体関連特許審査委員。NEDO の「FeRAM 製造技術の開発」研究評価委員。

● 12:15-12:45 カンファレンスルーム A 「デジタルツインを推進する企業への富士ソフトの取り組み」

富士ソフトにおけるデジタルツインの実現に向けた取り組みとして、概要及び技術要素、デジタルツインを進める上での課題や解決への取組をご紹介します。当日のデモ展示では、ロックウェル社の Emulate3D とファナック社の協働ロボット CRX を繋げて、どのような仕組みでバーチャルとリアルの協調動作を実現したのかをご紹介します。

富士ソフト株式会社 インダストリー事業本部 インダストリービジネス事業部 産業機器ソリューション部
部長 小西 大地 様



2004年 富士ソフト(株)入社。以降、技術者として FA ネットワーク(PROFIBUS, FL-NET)や PLC ラダー関連のソフト開発に従事。現在は製造業の工場向けに IoT のインテグレーションを推進中。

● 12:15-12:45 カンファレンスルーム B 「スマートファクトリーを実現するためのネットワークデザインとセキュリティ対策」

スマートファクトリー化・DX を進めるにあたり、現場のデータをいかに収集し、利活用を進めるかが重要になっています。またそれに伴うセキュリティの懸念及びインシデントも報告されています。本セッションでは、ネットワークを通じたデータ収集と制御通信をどう安定させるかという課題に対して、その両方を実現し、セキュリティ対策も実装した工場ネットワークの有線・無線のあるべき姿について講演いたします。

シスコシステムズ合同会社 Industrial IOT 事業部 担当部長 中川 貴博 様

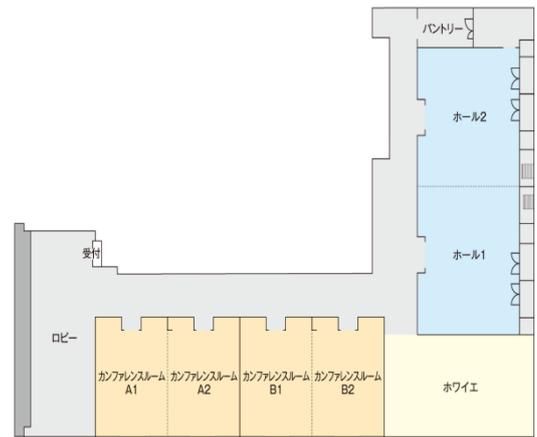


医療機器メーカー、外資系 IT 企業を経て 2016 年よりシスコシステムズに在籍。製造業や金融機関向けのお客様担当営業を経て、2019 年より現在の役割につき、製造業や電力事業のデジタル化を推進。産業用ネットワークの各種業界団体にも在籍。

● 13:00-13:40 ホール 1 「住友ゴム工業のタイヤ工場

DX 取り組みについて」

住友ゴム工業では変化に対応できる柔軟な仕組み作り、それによる事業効率の向上を目指し、2025 年までに基幹システムの刷新やデジタル基盤の整備を進める計画としています。2019 年に導入を決定したタイヤ工場における共通デジタルプラットフォームは、国内外の複数拠点へ拡大し、活用が始まっています。5 年経過した現在の状況を紹介するとともに今後の工場 DX 戦略についてお話しいたします。



住友ゴム工業株式会社 タイヤ生産本部 製造 IoT 推進室長

伊都 剛 様



新卒で旧オーツタイヤに入社、住友ゴム工業への吸収合併を経て同社の国内外工場設備における新設・改造・更新他エンジニアリング業務に従事。保全業務を含む国内工場マネージメントなどを経験し、2021 年 1 月から現職。

● 13:00-13:40 ホール 2 「設備づくり変革を目指し、製造 DX ソリューション活用の取り組み」

製造業における 10 年先を見据えた重要課題として、優秀なベテランの技術者・技能者の大量引退に伴う彼らの知見や匠の技といった属人化している暗黙知のノウハウ伝承が進まず、長年培ってきた貴重な情報資産の喪失が挙げられる。特に製造業を下支えている専用機業界においては、若手人材の採用難も合わせて問題が顕在化し始めている。この社会課題に対し、同社では近年の DX 技術を活用し、次世代の設備づくりの変革を目指した活動を行っており、本講壇では、その取り組みについて紹介する。

株式会社デンソー 工機部設備 DX 推進室 担当課長 西嶋 洋 様



1987 年株式会社デンソー入社。デンソー短期大学を経て 1989 年から一貫して自動車部品向け社内生産設備のエンジニアを担当。2022 年よりデジタルエンジニアリングに取り組み、現在に至る。

● 13:55-14:25 ホール 1 「IoT から現場の安全機器や盤内機器まで ～ RA 製品の最新トレンドがまるわかり～」



ロックウェル オートメーション ジャパン株式会社 ソリューションコンサルタント(IA 担当) 富田 真司



ロックウェル オートメーション ジャパン株式会社 ソリューションコンサルタント 盛岡 良成

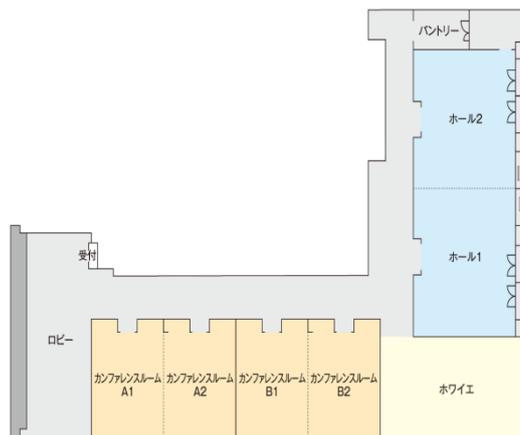
● 13:55-14:25 ホール2「生産イノベーションの場
～ デジタルツインズ(初級)」



ロックウェル オートメーション ジャパン株式会社
グローバルデジタル設計ツール 部長 高松 典彦



ロックウェル オートメーション ジャパン株式会社
ソリューションコンサルタント 青木 靖幸



● 14:35-15:05 ホール1「現場機器メンテから生成 AI まで、ロックウェル・オートメーションの AI 全部見せます!
～ GuardianAI, LogixAI, Kalypso, 生成 AI, Microsoft Copilot」



ロックウェル オートメーション ジャパン株式会社 エンタープライズアカウント テクニカルコンサルタント
鈴木 健祐

● 14:35-15:05 ホール2「思いきった調整による生産性向上の場 ～ デジタルツインズ(中級)」



ロックウェル オートメーション ジャパン株式会社 グローバルデジタル設計ツール 部長 高松 典彦



ロックウェル オートメーション ジャパン株式会社 テクニカルコンサルトリーダー 山岸 徹

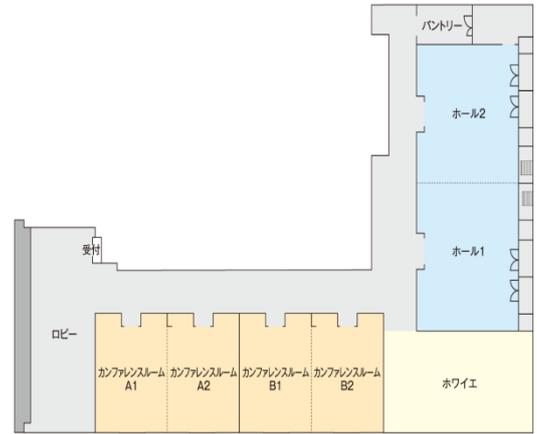


ロックウェル オートメーション ジャパン株式会社 独立型カートテクノロジー セールスペシャリスト
李花子

● 15:15-15:45 カンファレンスルーム A 「短期導入で多拠点展開!
SaaS 型 MES PLEX 活用事例」



ロックウェル オートメーション ジャパン株式会社
エンタープライズソフトウェア セールス本部長
吉崎 哲郎



● 15:15-15:45 カンファレンスルーム B 「2027 年機械安全規格対応準備 ～デジタルツインズ(上級)」



ロックウェル オートメーション ジャパン株式会社 グローバルデジタル設計ツール 部長 高松 典彦



ロックウェル オートメーション ジャパン株式会社 テクニカルコンサルトリーダー 山岸 徹

● 16:00-17:00 ホール 1&2 「パネルディスカッション」

モデレータ

アイティメディア株式会社 BtoB メディア事業本部 メディア本部

編集局 産業テクノロジー編集統括部

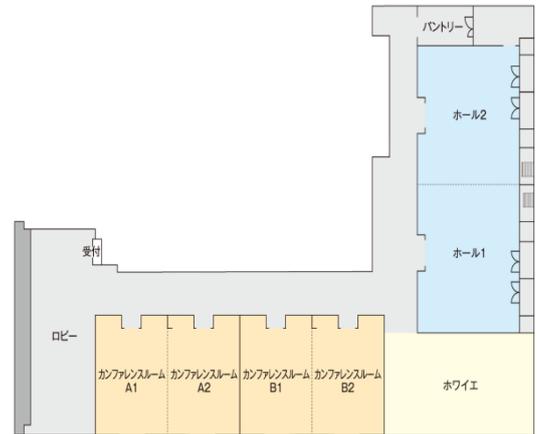
統括編集長 兼 MONOist 編集長 三島一孝 様



エレクトロニクス業界紙、エンタープライズ IT 系メディア企業などを経て 2013 年にアイティメディアに入社。2016 年から、モノづくりスペシャリストのためのオンラインメディア「MONOist」の編集長として、製造業 DX やスマートファクトリーなどの取材／編集活動を行う。

2023 年 10 月に産業テクノロジー領域の統括編集長に就任。

MONOist をはじめ、建築系メディアの BUILT やエレクトロニクス系の EE Times Japan、EDN Japan、エネルギー系メディアスマートジャパンなどを担当する。



パネラー

株式会社 日本政策投資銀行 設備投資研究所 主任研究員 青木 崇 様



経済産業省 製造産業局 製造産業戦略企画室 松高 大喜 様



京大学大学院 新領域創成科学研究科 佐藤 知正 名誉教授



東京大学先端科学技術研究センター先端 システム教授や同大学工学系研究科機械 情報工学専攻教授などを歴任。日本ロボット学会会長を務めるなど、長年にわたりロボット研究やロボットの社会実装活動の第一人者として活躍されている。

インフォマインテリジェンス合同会社 シニアコンサルティングディレクター 南川 明 様



1982 年武蔵工業大学電気工学科卒、モトローラ入社。90 年ガートナー・ジャパン データクエスト半導体産業分析部シニアアナリスト、IDC Japan、WestLB 証券、クレディートリョネ証券を経て、04 年データガレージ設立。19 年英 Informa へ統合され OMDIA ブランドで活動。JEITA では 10 年間に渡り、世界の電子機器と半導体中長期展望委員会の中心アナリストとして従事。定期的に台湾主催の半導体シンポジウムで講演を行うなどアジアでの調査・コンサルティングを強化。特許庁の自動車用特許の技術審査委員、半導体関連特許審査委員。NEDO の「FeRAM 製造技術の開発」研究評価委員。

ロックウェル オートメーション ジャパン株式会社 パートナー戦略事業本部 本部長 (エバンジェリスト) 吉田 高志



2011 年 7 月 1 日よりロックウェル・オートメーションに制御系システム担当として入社し、営業部長、製品事業部部長の職を経て、現職に至る。現在は産業界への新技術の啓蒙活動や新事業開拓といった分野に注力。お客様の課題やご展望に対して、自社製品に限ることなく、パートナー企業殿と共にソリューション提案などを実施も行なっている。

● 17:00-19:00 カンファレンスルーム A&B 「懇親会」

ささやかな懇親会を開催いたします。お時間の許す限りで結構ですので、是非ご参加ください。

シスコシステムズ合同会社「シスコの産業用ネットワーク製品デモ」

「データを活用して競争力のある工場をつくりたい」こんなご相談をいただきます。シスコでは製造 DX の実現に向け、制御とデータ活用のためのネットワークを提案しており、今回、ロックウェル オートメーション ジャパン、ネットワンパートナーズとの共同デモを展示します。カメラや Wi-Fi、IoT センサーなどが同じネットワークの中にあっても生産に影響を与えない、制御の通信を優先する QoS 機能のデモを実演します。

富士ソフト株式会社「バーチャルとリアル+ROS 技術の有用性」

Emulate3D のバーチャル空間上にロボット 2 台と周辺機器を配置し、簡易な生産ラインを模したシミュレーション環境を構築してバーチャル空間の動作（シミュレーション）と実機のロボットを協調動作させる展示を行います。周辺機器は ROS 技術を用いて制御し、Emulate3D と ROS の連携も行いロボティクス領域におけるデジタルツインの有用性をアピールできるデモ展示を行います。

株式会社デンソーウェーブ「GuardLink が変える機械安全の設計・活用シーン紹介」

GuardLink は業界初の機械安全向けアーキテクチャで、専用の安全制御タップと M12 標準コネクタ付きケーブルによる簡単配線と CIP Safety による EtherNet/IP 通信で、最高レベルの機械安全を実現します。今回は、お客様が苦勞する安全システムの設計・保守対応の各シーンに於いて、実際の設備での使われ方を想定したデモ機で GuardLink の魅力をご紹介します。

株式会社テクノプロ テクノプロ・デザイン社「デジタルツインズをサポートするソリューション」

ROCWELL 社/Emulate3D を活用してデジタルツインズ・3D シミュレーションをサポートするソリューションをご紹介します

東洋紡エンジニアリング株式会社「OT セキュリティ～ OT 資産のエンドポイント保護から工場ネットワークのセキュリティ監視まで～」

DX が加速化していくことによりネットワークセキュリティの重要性も連動して高まっております。セキュリティにおいては多層防御の考えが基本ですが、その中でエンドポイント保護となる制御デバイス間の通信を暗号化する“CIP セキュリティ”の働きを PLC、サーボを用いてデモにてお見せいたします。また工場内のブラックボックスとなっている資産・ネットワークの可視化、脅威の検出やリスクの特定など、OT ネットワーク全体のサイバセキュリティの取り組みをサポートする「Claroty CTD」を展示いたします。

株式会社日新システムズ「スマート工場化に必要な設備のデータ収集と監視制御手法の紹介」

工場の既設アナログメーターや製造ラインごとの消費電力量の値を容易に収集する IoT 無線センサソリューションや、生産現場のニーズに合わせたカスタマイズを可能とするソフトウェア PLC「ISaGRAF」、豊富なラインナップでコンフィギュラブルなロックウェル社の産業用 PC「ASEM」ファミリーなどを紹介します。

ロックウェル・オートメーション「EtherNet/IP 盤内システム 型式 1834」

現在までの盤内制御配線方法に対して、革新的省配線ネットワークシステム構成をご紹介します。

- ・盤内機器の制御が、入出力信号配線から EtherNet/IP ネットワーク通信へ
- ・盤内機器の制御配線不要
- ・盤内スペース削減
- ・盤制作時間削減
- ・最大 25m のケーブル接続性と 40 の接続ノードを備えたリニアバス
- ・盤内機器への電源供給とデータ通信がケーブル 1 本

ロックウェル・オートメーション「クラウド型製造実行システム (MES)」

ロックウェル・オートメーション「次世代のリニア搬送システム-マグネーション」

インテリジェント且つ高速の動作で搬送工程のボトルネックを解消し、カーブ・分岐を利用した自由のレイアウトで効率的に搬送し、生産効率を向上できるリニア搬送システム-マグネーションです。

- ・高速動作
- ・フレキシブルなグループ動作
- ・自動衝突防止機能

ロックウェル・オートメーション「OT ネットワーク～ スマートファクトリー実現に向けた産業用ネットワーク、OT 制御デバイスとネットワークの統合管理、次世代リモートアクセスソリューション～」

生産現場には様々な制御システムが存在し、それらを支えるネットワークには高いリアルタイム性、可用性、信頼性が求められます。特にネットワークインフラの安定稼働においては、構築後の運用プロセスをサポートする仕組み、機能の実装は欠かせません。本デモブースでは、PLC や制御デバイス、ネットワークを統合管理し、OT 資産全体の管理/運用プロセスをサポートする「SNET Xpertviewer」ソリューションを展示いたします。また、OT 環境の特性を考慮したリモートアクセスに求められる仕組み、機能を「Cisco SEA (Secure Equipment Access)」ソリューションのデモにてお見せいたします。

ロックウェル・オートメーション「納期短縮・コスト削減・イノベーションの場～デジタルツイン"ズ"」

「リアルで一発で成功させる」機械・ライン・人・ロボット協働のすり合わせ、全体最適化した生産計画・指示、これらをバーチャルで徹底的に検証します。モノが壊れない・人がケガしないので、思い切った生産ライン調整が可能、安全柵の中・高所作業、サンプルワーク流し、すべてバーチャル空間でワンクリックでワープしながら、リセットしながら、徹底的に生産検証します。その結果、生産段取り・立上げにかかる消費電力量を抑え、廃棄物を低減し、リアルでの立上げ時間短縮、ロスコスト低減を達成できます。さらに、バーチャル空間で、同じ生産ラインを複数コピーして、複数人が同時並行で作業可能なので、リアル空間での生産ライン立上げにおける待ち時間を大幅に短縮できます。

ロックウェル・オートメーション「IIOT 用ゲートウェイ機能搭載タッチパネル」

お楽しみスタンプラリーのご案内

ROKLive Japan 2024

ROKLive Japan 2024ではスタンプラリーを開催します。
講演、デモ展示をご覧になって各ブースでスタンプを集めてください！

豪華賞品が当たるかも？



- ★ 特賞3名様: パルミューダトースター
- ★ 準賞25名様: Amazonギフトカード(コードタイプ) 5千円分
- ★ 参加賞: ドリップコーヒーまたはめぐりズム



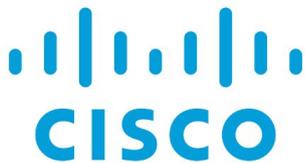
スタンプラリー参加方法

1. 受付の際にスタンプラリーの台紙をお渡しします。
2. スタンプラリーの台紙に、参加された講演・デモ展示ごとにスタッフがスタンプを押します。
3. スタンプを3個以上集めた方は、豪華賞品のあたる抽選に参加できます。
この抽選はスタンプを集めるほど当選確率が上がります。

皆様、ふるってスタンプを集めてください！

※ 参加賞はスタンプラリーに参加された方全員にスタンプの数に関わらず差し上げます。

協賛パートナー(ゴールドスポンサー)



シスコシステムズ合同会社



富士ソフト株式会社

協賛パートナー(シルバースポンサー)



愛電株式会社



株式会社テクノプロ テクノプロ・デザイン
社



株式会社デンソーウェーブ



東洋紡エンジニアリング株式会社

東洋紡エンジニアリング株式会社



株式会社日新システムズ